

第1回次期総合振興計画（区の将来像）に係る見沼区検討懇話会 議事要旨

開催日時：2018年11月27日（火）14：00～16：00

開催会場：さいたま市見沼区役所 2階大会議室

出席者（懇話会委員）：

芝浦工業大学

磐田 朋子 氏

見沼区民生委員・児童委員協議会

大川 野英子 氏（職務代理）

NPO 法人 自然観察さいたまフレンド

小野 達二 氏

さいたま市 PTA 協議会見沼区連合会

合谷 竜一 氏

春岡地区自治会連合会

齋藤 英一 氏（座長）

NPO 法人 見沼ファーム 21

島田 由美子 氏

NPO 法人 地域人ネットワーク

白瀧 康次 氏

花いっぱい運動推進会見沼区支部

中村 金良 氏

さいたま商工会議所

古川 モト子 氏

配食サービスひまわり

松本 小枝子 氏

見沼区スポーツ振興会

横田 洋子 氏

（事務局：さいたま市）：

見沼区役所：臼倉区長、柳橋区民生活部長、田辺健康福祉部長、小久保総務課長

都市経営戦略部：田中副参事、篠葉参与

欠席者（懇話会委員）：

大砂土東地区自治会連合会

大河戸 千鶴子 氏

NPO 法人 さいたまスポーツクラブ

熊谷 弘子 氏

片柳地区自治会連合会

三浦 達雄 氏

七里地区自治会連合会

吉田 正信 氏

議題及び公開又は非公開：（議題）見沼区における「課題」と「将来への期待」について

見沼区の将来像・まちづくりのポイントについて

見沼区の将来像の見直しについて

（公開又は非公開の別）公開

傍聴者の数：0人

審議した内容：議題のとおり

問合せ先：見沼区役所 区民生活部 総務課 電話番号 048-681-6013

1 開会

2 挨拶

区長及び都市経営戦略部副参事より、挨拶があった。

3 出席者紹介

委員及び事務局の紹介があった。

4 座長及び職務代理者の選出

委員の互選により、座長に齋藤委員を、座長の指定により職務代理者に大川委員を選出した。

5 意見交換

- (1) 見沼区における「課題」と「将来への期待」について
- (2) 見沼区の将来像・まちづくりのポイントについて
- (3) 見沼区の将来像の見直しについて

各委員より、上記議題について、次のとおり意見及び感想を述べた。

●見沼区における課題と将来への期待について

・若者が楽しめるスペースがないこと等が要因になり、学生は地域の中に入っていこうとしない。一方でフィールド実習に行くと、見沼区の自然に感銘を受ける。見沼田んぼの魅力を発信する仕組みがあれば学生は流れていくのではと考えている。

学生にとっては自転車道など、駅と見沼田んぼ間のアクセスが向上することにより人が流れるまちづくりの仕組み、回遊性、ができると、新たなビジネスや魅力が生まれる可能性が出てくるのではないかと考えている。

氷川神社といった観光資源がある大宮区との連携など、近隣区との連携により回遊性がよいまちづくりができればよいと考えている。

・見沼区は自然が豊かな一方で都心に近いこともあり都市化の波が押し寄せる心配がある。マンションや個人住宅は駅周辺に集中させ、その他の地域では可能であれば特別緑地保全地区の指定を多くして緑を守る必要があるのではないかと考えている。

・見沼区は程よく田舎で程よく便利でバランスのとれているまちだと考えている。一方見沼区は自然のあるところ、住宅地があるところが分離されており、それらをつなげる、見沼の自然を生かした中心スポットがあればと思っている。自然に触れ合える場所があれば人の流れも変わってくるのではないかと感じている。

・見沼区は広く、見沼について共感しあえるネットワーク・つながりがどこにあるのだろうかと思う。同じ区民同士が区について考えあえる場があってもよいのではと考えている。そのような意味で、自転車が安心して通れる道があれば、区全体のネットワークができ、交流が深まると感じている。また見沼区の農地は大変貴重な存在で、マルシェなど農業を活性化する取り組みがあればよいと考えている。

・自然が豊かで災害も少なく見沼区は住みやすいと感じているが、通学の道幅が狭く子供の通学に影響していたり、自転車の交通マナーが悪かったりするところがある。またバスルートの改善や自転車ステーションの取り組みはよいと感じている。

・この様な会議で出した意見が行政内で共有されておらず、どこに行っても話が通じるように、区民が出した意見が共有される仕組みがあればよいと思っている。

・若者を引き付けるような魅力を感じさせる事業が必要と感じている。財政が厳しい中で、その様な重要な内容に予算が使われているのだろうかと感じている。

・2点ほど提案を行いたい。まず、一定の面積を持つ土地所有者は花壇を整備する制度を定めてほしいと思っている。そのことにより良好な生活環境になるのではないかと感じている。もう1点は、通学路に倒壊の危険性があるブロック塀があり、対応をして欲しい。

・市民が見沼田んぼに気軽に入って行けるような、自然を生かしていく仕組みがあれば、市民と見沼田んぼがつながると思う。また大谷地区では人口が増加し住宅が増加しているが、環境の整備と合わせ、バランスのとれた計画となっているのか気になっている。

・素晴らしいのどかなところに住んでいると感じているが、散歩していても休憩する場所がなく、あればもっとPRできるだろう。また通学路における子供の安全や、子供と高齢者の居場所づくりに取り組む必要があると感じている。環境がよいとは言っても問題点は多く、皆さんと協議していきたい。

・見沼というと見沼田んぼというが、自然との共生を考えた場合、綾瀬川沿いまでも含めて解釈すべきではないかと考えている。また高齢化率を考えると現在は交通の便が悪く、交通網を整備していくべきと考えている。

・生徒数について補足を申し上げたい。現状は偏りがあり、大谷小学校約1,200人、大砂土東小学校約1,200人、春岡小学校で1,000人を超えている。一方七里小学校約380人、東宮

下小学校約 180 人、片柳中学校では 300 人前後で、クラス替えや部活動がままならないといった状況である。

●見沼区の将来像・まちづくりのポイントについて

・まちづくりのポイント 4 について、活用度の様子を PR するために写真があったほうがよいのではないか。

・自転車専用道路を整備するのはよいが、車道を整備した後に、道幅を考えて整備してほしい。また通学路について、左側に線が引かれても、子供は右側通行であるなど不合理な点がある。

住みよいまちづくりに向け、行政や住民だけでなく、事業者も協力していく必要がある。

・住み始めたころに比べ、市の指導もあり、住民と行政が清掃活動に取り組むようになり、まちがきれいになってきている。

・まちづくりのポイントとして4つ挙げられているが、これらはリンクしており、リンクを感じさせる表現があってよいのではと感じる。また、地域と魅力を高めるには、行政界にこだわらず近隣区と連携して取り組むという点も入ってよいのではと感じる。

また平成 33 年以降の計画であるのに IT に関する将来の姿が感じられないが、その様なことでよいのだろうか。

市：総合振興計画の全体の中で考える事項であると考えており、区の将来像の中で描くということとは別の話と考えている。

・まちづくりのポイント 2 について、若者、という言葉を入れるべきではないだろうか。

・区を通る幹線道路をまちづくりの地域資源として記載できないだろうか。

・まちづくりのポイント 2 について、最初の文章に、障害者、という言葉も入ってもよいのではないだろうか。

・外国籍の方も入ってよいのではないだろうか。

・高齢者が生き生きと、ということは重要だが、高齢者が活躍する場を用意するという趣旨であってほしいと思う。

・体育館や公民館などの段差の問題やスロープが無いことが課題となっている。今後利用が増加すると考えられる高齢者や障害者が利用しやすくなるよう、公共施設の利用環境を改善していただきたい。

・まちづくりのポイント1のタイトルについて、これまでは自然をどう生かすか、ということであったと思うが、皆さんの話をお聞きし今後は、自然を身近に感じられるまちづくり、という表現がよいと思う。

用水側の道を歩いて楽しい道として活用するなど、市民が身近に見沼の自然を感じ、PRができるようになれば自然と共生できるまちづくりにつながると思う。

・緑を守れという人は多いが、緑を守る人は少ない。ボランティアは有償ボランティアにすべきと思う。

・まちづくりのポイント4について、木造住宅が多く延焼の危険性がある。また行き止まり道路など消防車・救急車が入れない可能性もあり、区画整理をやったほうがよいと思う。

・掲載されている写真が代表的なものでないようなので、変えたほうがよいと思う。

・ポイント4について、地域には企業があり、それら企業と協働できるまちづくりの仕組み作りがあってもよいと思う。

・ポイント3について、タイトルの「動きやすい」は「動きたくなる」の方がよいのではないだろうか。

●見沼区の将来像の見直しについて

・タイトルについて、見沼、といっても広く、それを表すような表現があればよいのではと思う。

・タイトルについて、文化、は意味合いが広い。共生、という雰囲気を出す方がよい。これからも住んでいくという点から、暮らし、という言葉が合っている気がする。

・魅力、では広すぎるだろうか。

区長：農業を育てる、といった文言が入ってもよいのではないだろうか。

・農地の保全に加え、農地・農業の振興があってもよいと思う。

- ・ 農業の振興、活性化という方向であるとよいと思う。

- ・ 地産地消という表現があってもよいと思う。

6 閉会